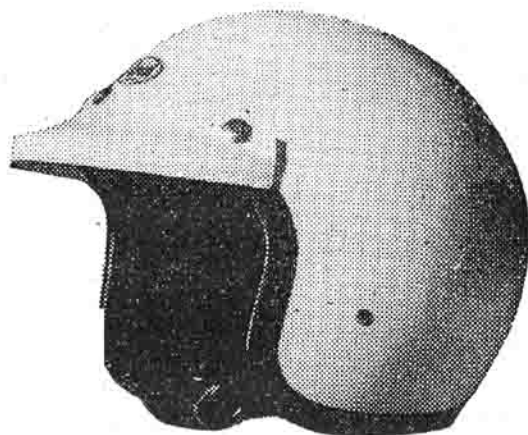


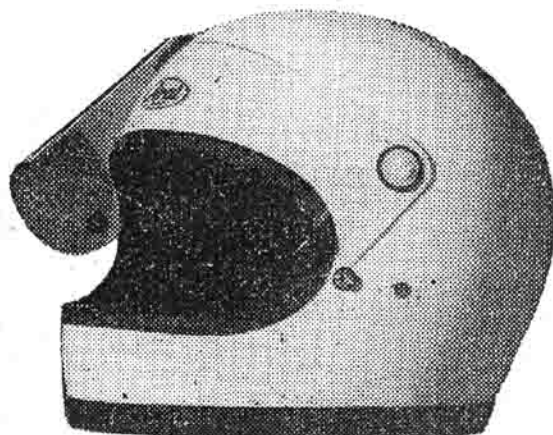
# Arai news

★★★ No.5

スネル規格を凌駕するCLC2機種[CLC RX-7, CLC R-7]  
とファイバークラス2機種[S-75, X-75]を新発売!!



S-75 スネル1975年規格を凌駕する安全性を備えたジェット型です。 ¥12,800



X-75 ロードレーサーの使用体験から生まれた、窓カットが特長。どのスネル1975年規格のものよりも、ロードレースにぴったり。 ¥18,000



## スネル規格とは

スネル規格の歴史は、今から20年ほどさかのぼります。1956年の夏のこと、カリフォルニアのスポーツカー愛好家ピート・スネルが、レース中の事故で頭部を打ち、命を落としたことがその発端でした。彼は、当時F-1レーサーも使用していたヘルメットを着用していましたが、今日の常識からすれば、ひどいヘルメットだったそうです。といっても、当時はまともなヘルメット規格もなく、安全なヘルメットを見分ける方法が確立されていなかったのです。

この現実直面し、ピート・スネルの友人だった医師、学識経験者などが、友人の死を無駄にしてはならないと立ちあがりました。

安全なヘルメットについて研究が始められ、こうして1957年にスネル記念財団が設立され、スネル規格が誕生したわけです。

スネル規格は、常にヘルメットの技術水準を先取りした形で設定されます。すべてのメーカーに、より安全なヘルメットを作る努力をうながすためです。技術水準の向上にともなって、よりきびしい規格へと改められるのはこのためです。

新井広武も新しい技術に関する資料を提供しています。次の規格改正のときは、新井の安全に関する提案が採用されることでしょう。